



2026年7月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年3月17日

上場会社名 株式会社クロスフォー 上場取引所 東
 コード番号 7810 URL <https://crossfor.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）内藤 彰彦
 問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）山口 毅（TEL）057-008-9640
 半期報告書提出予定日 2026年3月17日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年7月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年8月1日～2026年1月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年7月期中間期	2,600	42.5	73	187.2	68	213.8	24	39.9
2025年7月期中間期	1,824	11.6	25	—	21	—	17	—

（注）包括利益 2026年7月期中間期 24百万円（44.6%） 2025年7月期中間期 16百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年7月期中間期	1.42	1.36
2025年7月期中間期	1.01	—

（注）2025年7月期中間連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在しないため、記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年7月期中間期	6,099	1,826	29.9
2025年7月期	5,057	1,806	35.7

（参考）自己資本 2026年7月期中間期 1,825百万円 2025年7月期 1,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年7月期	—	0.00	—	0.35	0.35
2026年7月期	—	0.00			
2026年7月期（予想）			—	0.35	0.35

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年7月期の連結業績予想（2025年8月1日～2026年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,010	6.7	70	26.2	33	40.2	30	36.7	1.77

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年7月期中間期	17,845,000株	2025年7月期	17,845,000株
② 期末自己株式数	2026年7月期中間期	798,081株	2025年7月期	798,081株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年7月期中間期	17,046,919株	2025年7月期中間期	17,040,962株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年8月1日~2026年1月31日)の連結業績は、以下のとおりであります。

1. 売上高 2,600百万円(前年同期比42.5%増)
この増加は主に国内の大手小売店、問屋の需要に即した企画提案が奏功し、受注が堅調に推移したことによるものであります。加えて展示会販売やライブ販売、地金系商品の販売が増加したことも寄与いたしました。一方海外は、アメリカ市場における関税の影響が継続していることに加え、地金相場の高騰により販売価格が上昇し、需要が減退したことから、受注環境は軟調に推移いたしました。
2. 売上総利益 750百万円(前年同期比22.1%増)
この増加は主に国内売上高が伸長したこと、適正な売上総利益率の確保に努めたこと、地金の再精錬処理において時価評価差益が発生したことによるものであります。
3. 販売費及び一般管理費 677百万円(前年同期比14.9%増)
この増加は、国内外展示会への出展が前年同期より増加したことに伴い関連費用が増加したことに加え、社員の生活の安定を図るため基本給のベースアップを実施したこと等によるものであります。
4. 営業利益 73百万円(前年同期比187.2%増)
5. 営業外収益 21百万円(前年同期比49.6%増)
この増加は主に前年同期に比べて円安が進んだ結果、為替差益が2百万円増加したこと等によるものであります。
6. 営業外費用 26百万円(前年同期比46.4%増)
この増加は主に借入金利の上昇に伴い支払利息が8百万円増加したことによるものであります。
7. 経常利益 68百万円(前年同期比213.8%増)
8. 親会社株主に帰属する中間純利益 24百万円(前年同期比39.9%増)

当中間連結会計期間の業績は、全ての段階利益において黒字化を達成いたしました。今後についても当社グループがグローバルで唯一無二のジュエリー・アクセサリーブランドであり続け、未来に向けて着実に成長していくため、以下の施策を継続して実施していきます。

- 1) 世界中のブランドと共生できるオリジナル製品の開発
- 2) グローバル拡販の加速・北米市場の深耕
- 3) デジタルトランスフォーメーションの推進
- 4) 事業の拡大とサステナビリティへの取組み

なお、当社グループの事業セグメントは、「ジュエリー事業」の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1,041百万円増加し、6,099百万円となりました。これは主に、現金及び預金が475百万円、仕掛品が299百万円、原材料及び貯蔵品が195百万円、受取手形及び売掛金が91百万円増加したものの、商品及び製品が37百万円、有形及び無形固定資産が22百万円減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,021百万円増加し、4,272百万円となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債を700百万円発行したことに加え、長期借入金79百万円、短期借入金51百万円、支払手形及び買掛金が38百万円、未払法人税等が24百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産の部)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、1,826百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益24百万円を計上したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ463百万円増加し、1,012百万円となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動による資金の減少は、299百万円(前年同中間期は128百万円の収入)となりました。これは主に、前受金の増加額142百万円、税金等調整前中間純利益の計上48百万円、減価償却費の計上59百万円等による増加要因があったものの、棚卸資産の増加額461百万円、売上債権の増加額92百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動による資金の減少は、51百万円(前年同中間期は28百万円の支出)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が21百万円、有形固定資産の取得による支出が16百万円、定期預金の預入による支出が12百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動による資金の増加は、805百万円(前年同中間期は232百万円の支出)となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入が700百万円、長期借入れによる収入が358百万円等の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出が270百万円、社債の償還による支出が27百万円等の減少要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年9月12日に公表いたしました「2025年7月期決算短信」における通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	629,593	1,105,289
受取手形及び売掛金	723,403	815,299
商品及び製品	957,550	920,159
仕掛品	378,243	678,119
原材料及び貯蔵品	785,218	980,899
その他	113,914	166,328
貸倒引当金	△575	△1,553
流動資産合計	3,587,347	4,664,542
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	813,313	793,332
土地	331,094	331,094
その他(純額)	64,428	70,854
有形固定資産合計	1,208,836	1,195,281
無形固定資産		
投資その他の資産	163,451	154,292
長期貸付金	4,322	4,953
その他	92,098	79,602
貸倒引当金	△466	△639
投資その他の資産合計	95,954	83,915
固定資産合計	1,468,242	1,433,489
繰延資産		
社債発行費	2,399	1,658
繰延資産合計	2,399	1,658
資産合計	5,057,989	6,099,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年7月31日)	当中間連結会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	149,840	188,788
短期借入金	849,624	901,418
1年内償還予定の社債	54,000	54,000
1年内返済予定の長期借入金	581,553	589,530
未払法人税等	9,707	33,874
賞与引当金	—	1,182
その他	103,427	248,851
流動負債合計	1,748,153	2,017,645
固定負債		
社債	41,000	14,000
転換社債型新株予約権付社債	—	700,000
長期借入金	1,460,574	1,539,909
その他	1,399	1,328
固定負債合計	1,502,973	2,255,238
負債合計	3,251,127	4,272,883
純資産の部		
株主資本		
資本金	713,258	713,258
資本剰余金	806,925	806,925
利益剰余金	311,326	329,491
自己株式	△20,378	△20,378
株主資本合計	1,811,131	1,829,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204	104
為替換算調整勘定	△4,533	△4,088
その他の包括利益累計額合計	△4,329	△3,984
新株予約権	—	1,435
非支配株主持分	58	57
純資産合計	1,806,861	1,826,806
負債純資産合計	5,057,989	6,099,690

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
売上高	1,824,799	2,600,885
売上原価	1,209,600	1,849,958
売上総利益	615,199	750,927
販売費及び一般管理費	589,558	677,278
営業利益	25,640	73,648
営業外収益		
為替差益	7,482	9,783
受取賃貸料	3,103	3,103
補助金収入	1,973	3,460
その他	2,001	5,439
営業外収益合計	14,560	21,786
営業外費用		
支払利息	17,168	25,520
その他	1,174	1,331
営業外費用合計	18,342	26,852
経常利益	21,857	68,582
特別利益		
固定資産売却益	—	274
特別利益合計	—	274
特別損失		
盗難損失	2,946	—
事業撤退損	—	19,386
固定資産除売却損	662	830
特別損失合計	3,608	20,217
税金等調整前中間純利益	18,248	48,639
法人税、住民税及び事業税	1,701	26,296
法人税等調整額	△75	△1,788
法人税等合計	1,626	24,508
中間純利益	16,622	24,131
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△628	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	17,251	24,131

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
中間純利益	16,622	24,131
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△99
為替換算調整勘定	331	445
その他の包括利益合計	308	345
中間包括利益	16,930	24,476
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	17,528	24,477
非支配株主に係る中間包括利益	△597	△1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年1月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年8月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	18,248	48,639
減価償却費	56,729	59,425
貸倒引当金の増減額(△は減少)	708	1,150
受取利息及び受取配当金	△702	△885
支払利息	17,168	25,520
為替差損益(△は益)	△7,505	△9,886
固定資産除売却損益(△は益)	662	556
盗難損失	2,946	—
事業撤退損	—	19,386
売上債権の増減額(△は増加)	△89,812	△92,041
棚卸資産の増減額(△は増加)	109,925	△461,129
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,878	38,946
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,272	1,167
前受金の増減額(△は減少)	△4,337	142,445
未払又は未収消費税等の増減額	56,752	△15,491
その他	△10,687	△29,964
小計	146,490	△272,161
利息及び配当金の受取額	702	885
利息の支払額	△15,854	△24,997
法人税等の支払額	△3,372	△3,612
法人税等の還付額	62	142
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,027	△299,742
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,018	△16,348
有形固定資産の売却による収入	—	274
無形固定資産の取得による支出	△3,969	△21,310
定期預金の預入による支出	△70,600	△12,610
定期預金の払戻による収入	51,800	—
長期貸付けによる支出	—	△2,200
長期貸付金の回収による収入	3,025	1,626
その他	△600	△846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,362	△51,414
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	60,000	51,793
長期借入れによる収入	—	358,000
長期借入金の返済による支出	△264,388	△270,687
社債の償還による支出	△27,000	△27,000
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	700,000
株式の発行による収入	2,200	—
新株予約権の発行による収入	—	1,435
配当金の支払額	△5,925	△5,934
非支配株主からの払込みによる収入	4,630	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,500	△2,567
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,983	805,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,885	9,125
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△129,433	463,008
現金及び現金同等物の期首残高	909,385	549,188
現金及び現金同等物の中間期末残高	779,951	1,012,197

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、ジュエリー事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。